



今月のみざとし/人間の役目は遠いあの世よりも、手近な現在から片付ける事。(『尊者のご遺文』466頁)

令和4年 本部布教推進会議

立教100年に向けた取り組みをテーマに

本部布教推進会議が6月25日、本部道場をメイン会場に御霊地をはじめ各直轄道場の全6会場をオンラインでつないで開催された。



本部道場御神前をメイン会場に全6会場がオンラインで結ばれた



中部道場の様子



関西道場の様子

歩みを進めたい」と強調して活動への理解と協力を求めた。

続いて、宮坂保徳教務局長が「立教100年に向けて段階的に、そして着実に新体制を整える新たな時代を本会が迎えるにあたり、これまでの重要課題を引き継ぎながらもあらゆる面で見直しを図り、新たな一歩を踏み出すと共に金剛さまのご精神に心を向け、解脱の教えの原点を学び直し、立教のご精神に立ち返って刷新を図っていくことに努めていく」と述べた後、「刷新——信仰から真行へ/立教100年に向けて「創業の飛躍」を」と掲げられた「令和5年度本部布教活動方針」を説明。続けて「令和5年度活動実践の重点項目」について述べた。

次に、組織開発会規改正委員長の早川廣美常任理事が「理事選任及び圏域制度運用規定」について説明。その後、圏域に分かれての会議となった。各会議でも、立教100年には更なる飛躍が臨めるよう活発に討議が行われた。

今回の当会議は、本年上半期の布教活動の検証と本年度下半期ならびに来年度に向けて布教活動の運営方針の確認・共有が目的。特に本年末の本部役員の任期満了に伴い、来年度から新体制の下で圏域制度が運用されることから、圏域代表の理事の選出や各圏域における運用方法などが具体的に話し合われた。

午前10時半に開会。まず岡野英夫理

事長が挨拶に立ち、その中で「各地域毎に支部長の意見や要望、運営上の課題や諸問題を支部長会で集め、それを圏域会議にて協議し解決を図る一方、全国に共通する重要な事案は、定例の常任理事会に提出して速やかに対応していく」と来年度からの体制に触れ、最後に「コロナ禍、紛争や自然災害等によって学んだことを生活の中に取り入れて自身の価値観を再構築し、新たな

津之守弁財天・夏祭

ご加護に感謝捧げる



観測史上最も早い梅雨明けから間もない7月1日、本部道場報恩日行事に先立ち正午より津之守弁財天夏祭が挙行され、関僚子常任理事、稲子知義崇敬会会長、本部役職員、会員有志、荒木町関係者らが参列した。式典は、関常任理事の祝詞奏上後、玉串奉奠、拝礼行事が行われ、参加者は日頃のご加護への感謝を捧げた。終了後は、金丸稻荷を参拝した。

本部研修・一般基礎コース

支部で活躍することをめざし

6月11日、本部道場にて「個々の活性化を図り、支部のエネルギー源になろう」をテーマに一般基礎コースが開催された。九州・沖縄からの参加を含め研修生は8名。本部で当研修が開催されたのは初となる今回、三浦純教育部長の開会挨拶の後、佐藤正隆職員から、茶話会を通しての体験を発表。続いて、支部は尊い場であり互いに磨き育てる場であると三浦部長が講話。次に木崎成博教学出版部長は、支部を支える人となるべく世話人(幹事)の精進が必要と訴えた。

午後は靖國の靈魂に御礼をすることは日本国民として大切なことであるという金剛さまのご指導を受け取り、靖國神社



国民として靖國神社に参拝

昇殿参拝をした。

本部へ戻り、大賀光夫修法部長が、自身の体験を元にお導きにより自己の成長ができた喜びを述べた。研修生は支部で活躍する決意にあふれていた。

第53回 神変大菩薩碑建立記念祭

偉大なる御神徳に感謝を捧げる



新緑の林間に、真心からの動行が響き渡る

好天に恵まれた6月19日、山梨県富士吉田市北口本宮富士浅間神社にて第53回神変大菩薩碑建立記念祭が解脱会本部主催、甲信教区主管で執り行われた。

霊峰富士は、古来より修験道の聖地である。没後、修験道の開祖として光格天皇より神変大菩薩の諡号を賜った役行者について、金剛さまは「富士山を開かれたのは役行者だ。その大恩人に感謝できないものは、富士の裾野で成功すること

はできないよ」と、先覚者である山梨富士支部長・山本仁三郎氏にご指導され、その御心に従った山本氏が神変大菩薩の御尊影を石に刻んで建立した。

例年に引き続き参加人数が制限される中、岡野英夫理事長をはじめとした本部役職員、甲信教区役員や熱心に関心を学ぶ地元会員らが参列した。

午前11時より開式。修祓、献饌、岡野理事長による祝詞奏上がなされた。



祝詞を奏上される岡野理事長

次に代表5名が玉串を奉奠し、全参加者が真心からの般若心経を捧げた後、撒饌、終礼と続いた。

閉会挨拶にて岡野理事長は、神変大菩薩や弘法大師の法力を感得された金剛さまの偉大さに触れ、「年に一度は必ずこうしてお祭りに参列させていただき、心から感謝申し上げることが、金剛さまの弟子として大切なことではないだろうか」と呼びかけた。

続いて白木好雄甲信教区長は、城崎陽子先生著作『富士に祈る』の内容を引用しながら、会員のあり方として「歳を取る毎に、より凝縮された密度で日々振り返りながら、生活を送らなければならない」と述べた。その後、閉式の辞をもって式典は厳粛に終了した。また、感染症対策のため今年も直会中止となった。

教区健康指導担当員研修

健康指導の先導者として

東京圏域の教区健康指導担当員研修が6月19日に御霊地において開催され、総勢21名が参加した。

研修ではまず、拝礼行事に続いて先覚先亡者へ感謝の供養が捧げられた。



講話する三浦教育部長

次に、三浦純教育部長ならびに滝沢寧本部教務員が挨拶を述べた後、参加者たちは各班に分かれて体位矯正法と足心道

について、それぞれ基礎から概論について実習と講義を交えながら学んだ。続いて、三浦部長から「健康指導担当員の役目と活動について」をテーマに講義を受け、自らのお役目の尊さを学んだ。

最後に、堀川剛教育部次長から参加者に向けて、ますますの活躍への期待を込めた激励が贈られると、参加者たちは教区や支部において健康指導の先導者としてお導きと更なる普及を目指して精進努力することを互いに誓い合った。



実習を交え足心道を学ぶ

一般基礎コースのご案内

開催日●9月3日(土)

会場●御霊地・解脱研修センター

テーマ●自分の学びをアップデートして、幸せの輪を広げよう!

対象●〈支部を活性化したい!〉という意欲のある方

締切●8月15日(定員25名)

※対応可能な場合があるので、締切を過ぎてもお問い合せください。

研修費●3,000円

問合せ●解脱会教育部研修係

TEL 03(3353)3706(教育部直通)

FAX 03(3353)3707(教務局共通)

※詳しくは7月1日付本部通信

ホームページ通信

パスワード更新のお知らせ

令和4年9月1日から、会員専用ページのパスワードが変わります。

新しいパスワードは、本部通信8月号と共に配布していますので、各支部でお尋ねください。

滋賀教区・第56回 琵琶湖感謝供養祭

湖上で真心の天茶供養

滋賀教区では第56回琵琶湖感謝供養祭を5月29日に開催し、総勢100名が参加した。当日は琵琶湖上で真心の天茶供養を厳修、恩恵を頂いている御礼と有縁無縁萬霊へ感謝を捧げた。



恩恵に感謝して天茶供養を捧げる

また湖内に浮かぶ竹生島の弁財天参拝、その後、帰りの船内ではお弁当を囲み親睦を図りつつ湖上を楽しむ姿が見られた。

兵庫教区・第8回 海の供養

海岸で真心からの御供養

兵庫教区では6月5日、明石林崎海岸にて第9回海の供養を挙行了した。昨年度は兵庫明石地区の役員のみだったが、今回は枠を広げて本部教務員、教区役員、明石地区支部長らが参加。



一心に真心から供養を捧げる参加者

午前11時開式。海岸での供養では天茶と共に、経石や粉末の天茶の葉も撒かれ、靈魂の安霊と水難事故防止を祈願した。

新潟教区・健康指導研修会

自他ともに喜びの輪を

新潟教区では4月24日、三条総合福祉センターにて「健康を通して自己認識を深め人間性を磨き、その感動をもって自他ともに喜びの輪を広げたい」を目的に健康指導研修会を開催し、滝沢寧本部教務員が出講し13名が参加した。参加者は、自身の大切さを踏まえ生命に感謝して健康に生活する意識を高めた。



滝沢本部教務員より学ぶ参加者

名古屋第1教区・健康指導研修会

オンラインで御霊地からも

名古屋第1教区では6月19日、中部道場にて「支部健康指導担当員の役目や活動を理解し、コロナ禍における健康指導の実践法を学ぶ」を目的に健康指導研修会を開催し、柴山晴美健康指導委員が出講し19名が参加。今回、初めて御霊地の健康指導室とオンラインでつなぎ、三浦純教育部長らの指導を受けた。



御霊地の指導員からもオンラインで学ぶ

東京第7教区・修法勉強会

御修業の大切さ、再確認

東京第7教区では5月29日、川崎坂戸支部にて「コロナ禍における御五法修業を学ぶ意義」をテーマに修法勉強会を開催し、三浦純指導員が本部出講、15名が参加した。

参加者は、青年研修で初めて御修業を行った青年の姿から尊さを実感した三浦指導員の話や実修から、御修業の意義とコロナ禍での安全な進め方などを研鑽した。

北陸教区・女性セミナー

オンラインで3会場が共に

北陸教区では6月19日、富山岩瀬支部にて「今こそ女性のできる事は？」をテーマに女性セミナーを開催し、岡部靖子指導員が本部出講、28名が参加した。

今回、富山岩瀬支部をメイン会場に3会場をオンラインでつなぎ、本部出講もリモートで講話する形となったが、3年ぶりの女性セミナー開催に参加者は真剣に学んでいた。

「渡辺先生を偲ぶ会」のご案内

この度、本年3月23日に霊界入りしました川崎中島支部長・渡辺孝彦（解脱会顧問）を偲ぶ会を、下記の通り執り行うこととなりましたので、ご案内申し上げます

日時 9月17日(土) 午後1時～3時
 場所 解脱会本部道場・地下ホール
 東京都新宿区荒木町4番地
 電話 03-3353-2191

主催・問合せ先
 川崎中島支部 (TEL・044-244-1066)
 ◎ご供花やご供物の儀は固くご辞退申し上げます。



<事業部商品のご案内> 火打石セット 発売



お待たせいたしました。火打石と火打金のセットの販売を開始します。石は石英、火打金は従来の物よりも簡単に火花が出ます。

寸法：長さ10cm×幅4cm×厚さ1.2cm(火打金)
 価格：3,500円(税込み)

お問い合わせ：解脱会事業部 TEL：03-3353-2191
 Eメール：shop@gedatsu.or.jp

関西道場・泉涌寺寄席

道場で地域と楽しく交流



地域住民と解脱会員が楽しく交流

7月2日・3日の両日、「泉涌寺寄席」と題して近隣町内会主催による落語会が関西道場にて開催された。落語会は、新型コロナウイルスの感染防止として密を避けるため、2日は午前の部と午後の部の2回、3日は午前の部の1回と3回に分けて行われ、地元の京都女子大学落語研究会、立命館大学落語研究会、京都産業大学落語長屋の学生たちが日頃から稽古を重ねてきた落語や捻りがきいた大喜利を披露した。落語会には、道場に集った近隣の地元住民の方々や解脱会会員ら延べ110名が一体となって和やかで楽しい一時を過ごした。

今回の寄席は、近隣住民と解脱会員の交流の場として道場の新たな活用法を示す範ともなった。

滋賀教区・第45回 女性の集い

和気あいあいと寸劇も

滋賀教区では6月5日、長浜勤労者福祉センターにおいて第45回女性の集いを開催し、本部より関係子常任理事が出講し、幼い子連れのお母さんをはじめ総勢98名が参加した。

拝礼行事の後、太田豊地教区長が挨拶に立ち、参加者たちへますますの活躍を期待する言葉を贈った。

講話では関係子常任理事より、「家庭における役割」「次の世代にどうつなげるか」をテーマに、解脱女性として家庭で実践すべきことや、み教えを次世代につなげるために母親の果たすべき役割について分かりやすく述べた。

またこの日、長浜神前支部による寸劇が披露され、和やかな中にも教区女性部の団結力が高まった。



体験を織り交ぜて女性の務めを述べる関係子常任理事

第181回 秋季大祭のご案内

大祭は、会祖解脱金剛尊者が「人生最尊の行事」として定められ、会員一人ひとりが主催者となって執り行わせていただく感謝の祭典です。新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら斎行します。

行事日程

10月 8日 (土) 9:30 奉告祭

10:45 萬部御法楽

10月 9日 (日) 11:00 大祭式典 (ライブ配信有)

10月 10日 (祝) 11:00 大祭本祭式典 (ライブ配信有)

○式典終了予定 13:30 (両日共)

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御霊地施設の宿泊受付をお断りさせていただきます。ご不便をお掛けいたしますがご協力の程よろしくお願ひいたします。

参加教区

9日 新潟、群馬、東京第4、東京第5、東京第6、東京第7、神奈川、静岡、北陸、滋賀、京都、大阪、和歌山、神戸、兵庫

10日 北海道道東、北海道道南、東北第1、東北第2、埼玉、甲信、茨城、千葉、東京第1、東京第2、東京第3、愛知、名古屋第1、名古屋第2、中国第1、中国第2、四国東、四国西、九州、沖縄

コロナ禍の収束を願い萬部供養に申込みましょう

ロシアのウクライナ侵攻に関する霊名について

新型コロナウイルスの感染拡大に併せて、ロシアのウクライナ侵攻で犠牲となっている霊魂が新たに加わります。「法界無縁萬霊」以外の霊名は、「個人及びその他の霊」の欄に略号の記入をお願いいたします。

- 「法界無縁萬霊」 ●「世界人類生霊無縁之霊」(略号：世界生霊) ●「世界人類敵味方無縁之霊」(略号：世界敵無)
- 「新型コロナウイルス感染症犠牲者之霊」(略号：コロナ犠牲者) ●「鳥インフルエンザ殺処分家畜之霊」(略号：鳥インフル)
- 「新型コロナウイルス感染症罹患者各家祖先代々之霊」(略号：コロナ患者) ●「豚熱殺処分家畜之霊」(略号：豚コレラ)
- 「新型コロナウイルス感染症医療従事者各家祖先代々之霊」(略号：コロナ医療) ●「口蹄疫殺処分家畜之霊」(略号：口蹄疫)
- 「東日本大震災横死者之霊」(略号：東日本) ●「ウクライナ侵攻犠牲者之霊」(略号：ウクライナ)

秋季大祭の申込メ切は9月15日

(各支部のメ切日は異なりますのでご注意ください)

お問い合わせ先：調札部 TEL:03-3353-3555

Mail:chousatsubu@gedatsu.or.jp